

Scenery of work



Favorite pursuit



天ぷらカーで旅行へ♪

1、2月の農閑期には旅行に出かけます。  
ディーゼル車を改造した廃油を燃料とする  
「天ぷらカー」でエコな旅を楽しんでいます。

で話を聞きに行ったり。自然や農作物と対話しながら、自分にとって心地よい農業を追求し続けています。

農業の心地良さを共有したい

農業の魅力を探ねると、「オフィスで働いていた時には分からなかった土や風の匂い。太陽の下で農作業をしていると、生きているという実感があるんです」と話す紀子さん。

こんなに素晴らしい体験を自分だけのものにしておくのはもったいない。そんな思いから2006年にスタートしたのが「農Café」です。梅もぎ体験や加工品づくり、田植えや稲刈りなど、季節ごとに農的な暮らしを楽しむイベントを開催しています。

また毎週水曜日には、土間に米や梅の加工品を並べて販売する、「農Café BIOSHOP」をオープン。知り合いの農家の作物が並ぶ

こともあります。このBIOSHOP、以前フランスのリンゴ農家に滞在していた時に見た光景がヒントになっていると紀子さんは言います。とある畜産農家の納屋に、週2回近所の農家が集まりマルシェを開催。新鮮な野菜や果物を求めて、買い物かごを下げた人が長蛇の列をなしていました。「イベント的なマルシェではなく、地域の暮らしに寄り添った継続的なマルシェ。ここ群馬でも、それぞれの農家が持っている力を引き出すような形態ができれば、地域も活性化するのではないかと思います」

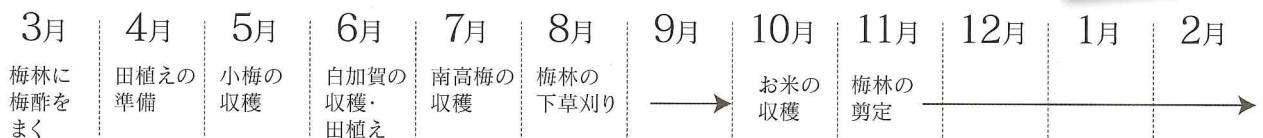
農業のある暮らしを楽しみながら、紀子さんの目は農業の未来を見据えています。

FB : <https://www.facebook.com/noucafe>

HP : <http://noucafe.wp.xdomain.jp>



年間スケジュール



1日のスケジュール(6月の水曜日)

